

平成 29 年度

グループホーム 亀天福寿苑

事業報告書

平成 29 年度 グループホーム亀天福寿苑 事業報告書

(1) 基本方針

「一緒に」 「共に」 を大切にし、私たちは支援します。

(運営方針)

- ① ご利用者一人一人が「その人らしく」生活が送れるように支援します。
- ② ご家族と積極的に交流し、「安心」を提供します。
- ③ 地域の方との交流を行い、より良い関係作りを行います。
- ④ 職員の質の向上に向かい、内部・外部研修に積極的に参加します。

(重点目標)

- ① 一人一人の生活歴や意思を尊重し、ご利用者が心から安心と思える生活が送れるように心がけました。

一人一人のご利用者・ご家族の希望を聞きながら、介護計画を立て、支援を行いました。会話の中から生活歴を把握し、ご利用者の得意分野、例えば裁縫や家庭菜園を一緒に行いました。生き生きした生活を過ごして頂けるように努めました。

あせらないで待つ・見守る介護を大切にし、ご利用者の意思の尊重と過剰介護を行わないように努めました。また、ご利用者が主体となって話す・動くレクリエーションを提供し、静と動を交えながら機能維持に努めました。夏祭り・敬老会・クリスマス会・おはぎ作り・もちつきの季節行事を行い、毎月の行事にも力を入れました。
- ② 職員の定着率が増加するように、心掛けましたが、難しい状況でした。

定期的なストレスチェックを受けたり、事務所内で相談できる環境作りに努め、職員も些細な事も、会話するようになりました。また、各ユニットに介護経験豊富な職員の配置や月 2 回のユニット会を行う事で、相談・適切なアドバイスを聞いたり、意見交換が出来る環境作りを行いました。

亀天会でのイベントにも職員が力を入れ、目標に向かい一緒に行う事で楽しいコミュニケーションが出来たと思っています。

今後も、イベントや相談しやすい環境作りを行います。また、職員同士がお互いを認める大切さを伝えていきたと思っています。
- ③ ご家族と一緒にご利用者を支え「福寿苑が楽しい場所」と思ってもらえるよう心がけました。

ご家族の面会時や苑行事参加時等、機会がある毎に、ご家族の希望やご利用者の状態の報告を行いました。面会時には、ご利用者の居室でゆっくりと会話して頂けるように配慮や、ご家族と外出される際にはゆっくりと外出を楽しんで頂けるような声掛けを行っています。

季節行事では、ご家族にも参加して頂くゲームを考え、ご家族・ご利用者・職員が一緒に楽しむ行事を行いました。毎月開催している趣味の会や運営推進会議を行う事で、ご家族が顔見知りとなり会話が弾むようになりました。

運営推進会議では、記録を読んで頂いたり、行事や日常の写真を見て頂く事で、ご利用者の様子がよく伝わるように努めました。

- ④ 運営推進会議・趣味の会や地域行事の参加を通じて、身近に感じる苑を目指しました。

地域の方々との挨拶では、職員から挨拶を行うようにしました。また、苑周辺の掃除も週に1度行い、溝や道の掃除も行いました。趣味の会や運営推進会議では、地域の方にもお知らせを行い、参加して頂きました。

高部地区防災会議には必ず出席を行い、地域の方と防災の事を一緒に考えています。また、高部地区のお祭り見学や波止浜文化祭への展示や参加を行いました。今後も、地域の方との交流を行うため、施設での行事への呼びかけや地域で開催している催し物への参加を行っていきたいと思います。

- ⑤ 福寿苑の様子を一人でも多くの方に知って頂くように心がけました。

居宅介護支援事業所や地域連携室の方と連絡を取り合い、情報共有を行いました。申し込みの希望がある方に関しては、施設見学を勧め、苑の様子をお伝えしました。また、申し込みのご家族だけでなく、ご本人にも来て頂くようにしました。365日の申し込み・見学が出来る体制を取り、気軽に来られる雰囲気作りを行いました。民生委員の方とは、地域行事の情報共有しかできず、自宅で困っている方に対しての支援までは出来ませんでした。

今後も、居宅介護支援事業所や地域連携室の方と連絡を取り、情報共有に努めたいと思います。また、申し込みの方に対して顔が見える関係性作りにも力を入れていきます。

- ⑥ グループホームに求められている家庭的な雰囲気を大切にし、知識・技術の向上を目指しました。

グループホームについての勉強会を行い、家庭的な雰囲気が作れるよう、各職員の長所を活かし、協力し合い業務を行いました。職員同士がコミュニケーションを取り、得意分野を活かす事で、生き活きとした表情になりました。

内部研修では、各テーマで担当職員が資料作りを行い、講師で勉強会を行っています。感想や個人目標を立てたり、1か月後の振り返りを行う事で、日々の介護現場で勉強会の内容が活かせるように努めています。外部研修も、多くの職員が参加できるように、違う職員が参加するようにしています。

(2) 利用者に対するサービス

● 食事

ご利用者の状態に合わせ、普通食から刻み食・食器の対応等、安心してお食事がとれるようにしています。また、温かいお食事が提供できるよう、直前の盛り付けや見た目を楽しめるような盛り付けを行いました。中庭で

採れた野菜を活用したり、ご利用者と一緒に漬けた梅干し等を一緒に提供し、会話を楽しみながらお食事をして頂きました。また、必要以上の食事介助は控え、ゆっくりと食事が出来る雰囲気作りを心がけています。

- 入浴

1人ずつゆっくりとした入浴を行っております。入浴時には、職員とご利用者が会話を行う事で日頃フロアではお話しされない事もお話しして下さいます。また、ご利用者の身体状態に応じて、普通浴・特殊浴、シャワーチェアの使用・清拭の実施をしています。脱衣場・浴室の温度やプライバシーに気をつけて介助を行っております。入浴時には、皮膚の状態観察を行い、異常があればすぐに看護師に連絡をとり対応を行っております。

- 排泄の介助

排泄チェック表に基づき、トイレへの声掛けや誘導を行う事でトイレでの排泄をして頂くように取り組んでいます。汚染があった場合は、状況に応じて清拭やシャワー浴、入浴を行っております。排便コントロールも排泄チェック表に基づき、看護師と連携をとり下剤の服用や水分摂取、体を動かす等で調整を行っております。環境面についても、壁・便座・床等の掃除を毎日や汚染時には行い、清潔が保てるように行っております。

- 健康管理

毎日のバイタル測定・食事摂取量、体調の変化の有無などを把握し、異常の早期発見に努めました。健康状態に異常がある時は、看護師と連携し、看護師の指示のもと、再検、必要時には早期受診による体調悪化予防や治療できるように行いました。また、医療機関と連携し、職員・ご利用者共に定期的な健康診断や予防接種を受けました。季節に留意した温度・湿度の調整や毎日の換気、水分補給を行い健康管理に気をつけました。

- 機能訓練

レクリエーションとして、午前中には体を動かすレクリエーションを取り入れました。毎日のラジオ体操や歩行訓練などを行い、体操後には風船バレーや魚釣りゲームなど楽しみながら体力作りに取り組むことが出来ました。昼食前には、口腔体操も取り入れています。午後からは、カルタやトランプ、ことわざクイズなど脳トレーニングを行ったり、指先を動かすように創作活動として季節の壁画作りや行事で使う創作物の作成に取り組みました。また、ご利用者に合わせて立位訓練や個別での足運動を取り入れています。日々の生活の中で、台拭き、洗濯物畳みやご自分で洗濯物を居室へ持って帰って頂く等自然に身体を動かして頂いております。また、手を出しすぎない介助を行う事で残存機能を使って頂いております。

- 行事

ご利用者には四季を感じて頂けるように、季節に合わせた行事を行いました。夏祭り、敬老会、クリスマス会等ご家族と一緒に楽しんで頂ける行

事も行いました。大勢が参加される事でより賑やかな行事になりました。餅つき大会やおはぎ作り、焼き芋を行いご利用者から教えていただく行事も取り入れました。各ユニットでは、お誕生日会やおやつ作り、カード作りを行いました。気候が良い日は戸外食も行っています。お誕生日会では、ご家族に協力してもらい、誕生日プレゼントを用意して頂いています。ご家族からのプレゼントにご利用者も感激されています。ご利用者の笑顔が多く見られ、季節を感じて頂く事のできる行事を今後も取り入れていきます。

- ボランティアの受け入れ、地域交流

毎月趣味の会では、プレート作り、おやつ作り、ボーリング、文化祭を行いました。外部から講師を招き、プレート作りを行いました。ご家族や民生委員、地区の方も参加されています。スノーボード作りでは、子供さんも参加され、ご家族も微笑ましい雰囲気で作品作りを行いました。趣味の会へ参加される方が顔見知りとなり会話が弾んできています。波止浜文化祭への作品出展では、ご家族も参加され地域の方に見て頂きました。また、毎月ボランティアの方によるコーラス会を行っています。電子ピアノで演奏しながらご利用者と一緒に懐かしい歌を唄われています。今後も地域交流が行えるように努めて参ります。

- 防災・防火対策

年に2回、4月と10月に苑内での防災訓練を実施しています。南海地震を想定したり、立地場所から土砂災害への対応の訓練も行いました。防火訓練時には、水消火器を使用しての消火訓練や防災設備の講習を行っています。また、防災の知識を高めるために防災に関する勉強会を行っています。高部地区における防災会議にも毎回出席させて頂いています。今後も南海地震を視野に入れ、より力を入れて取り組みたいと思います。

- 職員研修

外部研修、内部研修の参加により、知識・技術の習得に努めました。年間スケジュールに沿って毎月内部研修を行いました。講師にあたる職員が勉強を行い、発表を行いました。質問が出来るように行いましたが、質問が少ない状態です。季節に合わせて、感染症に関する事について勉強会を行う事で、早期に情報を職員全員で共有することが出来ました。今後も知識・技術の習得を行い、ご利用者により良い支援を行うよう努めていきます。

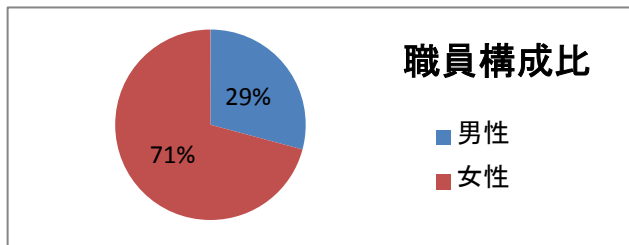


1. 事業所

① 概要

事業所名	グループホーム 亀天福寿苑		
事業所種別	(介護予防)認知症対応型共同生活介護事業所		
事業所住所	今治市高部字基石山甲661番地1		
管理者職名	管理者 藤原 裕子		
職員数	男性	女性	総数
	7	17	24

(平成30年3月31日現在)



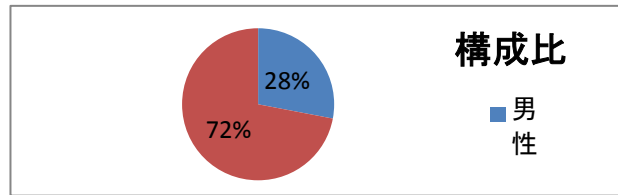
②職員紹介



☆ ユニットの紹介☆	1階 たんぽぽ	1階メンバーです。明るく・楽しくをモットーに仕事に取り組んでいます。ご利用者・ご家族ともユーモアを交えながら、楽しく話をさせて頂いています。ご家族にも、日々の様子をお伝えしたり、世間話を行いながらお話しやすい雰囲気を出すように心がけています。また、ご利用者にもユーモアを交えながら、1人1人に合ったケアを心掛けています。
	2階 こすもす	2階メンバーです。職員の年齢層20代～70代と年齢層が広いですが、若い職員の考えや経験豊富な職員の知識を活かし、話し合いながらご利用者の支援に努めています。アットホームな雰囲気とゆったりした時間が流れるような介護をモットーに、ご利用者・ご家族とも笑いあい、自立支援を行っています。
	3階 ひまわり	3階メンバーです。てきぱきした行動をする職員が多いユニットです。ご利用者の出来る事を大切に、また、個別のレクリエーションにも力を入れています。手先の運動・足の運動と自然な動きから体が動かせられるように支援しています。ご利用者と冗談を言いながら日々の支援をしています。これからも、頑張ります！！

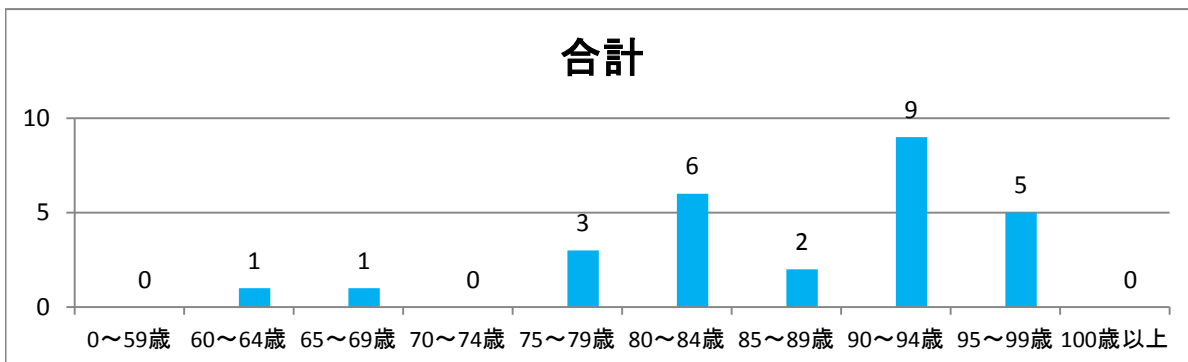
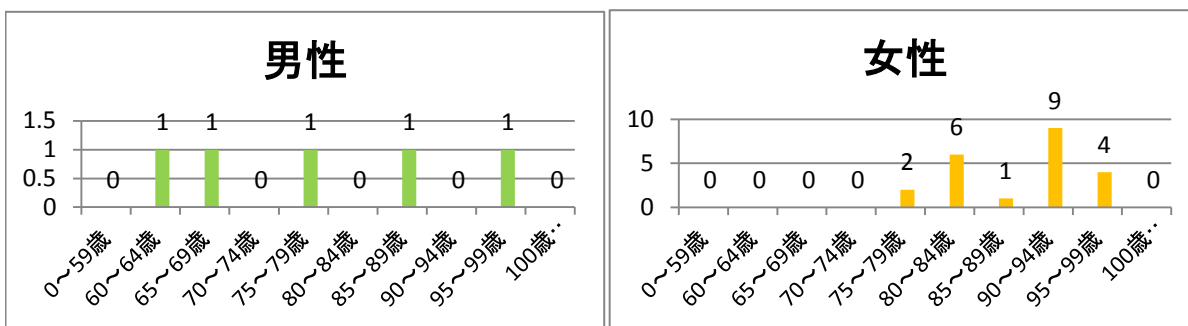
2. 定員及び現在人員(平成30年3月31日現在)

定員	現在人員	性別	
		男性	女性
27名	27名	7	18



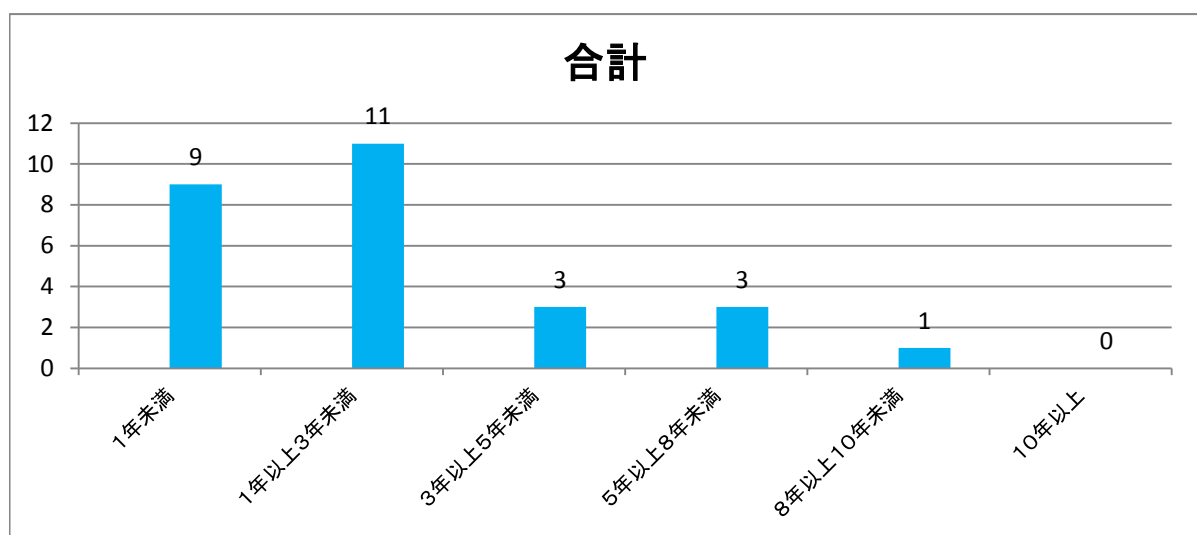
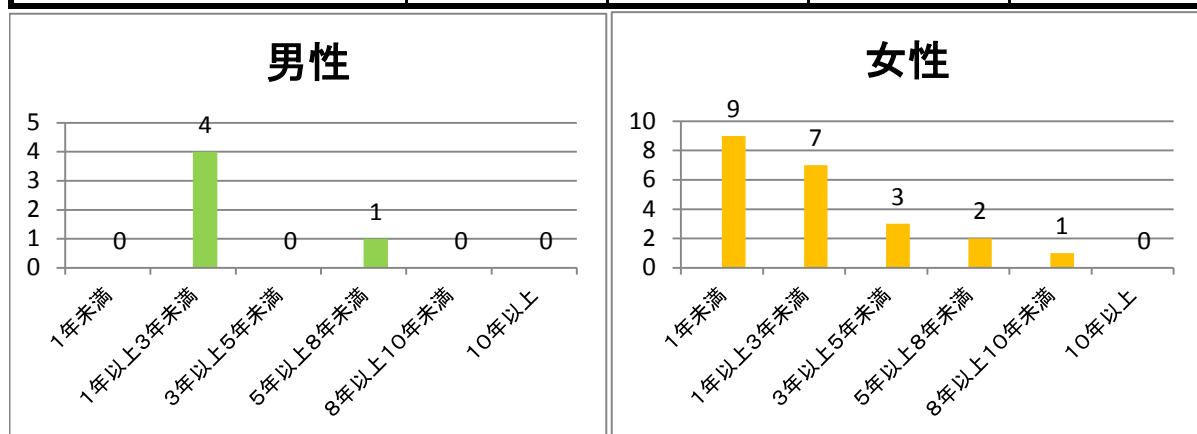
3. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0%
60～64歳	1	0	1	3.70%
65～69歳	1	0	1	3.70%
70～74歳	0	0	0	0%
75～79歳	1	2	3	11.11%
80～84歳	0	6	6	22.22%
85～89歳	1	1	2	7.41%
90～94歳	0	9	9	33.33%
95～99歳	1	4	5	18.52%
100歳以上	0	0	0	0%
合計	5	22	27	100%
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	96	60	76.6	
女性	97	75	88.6	



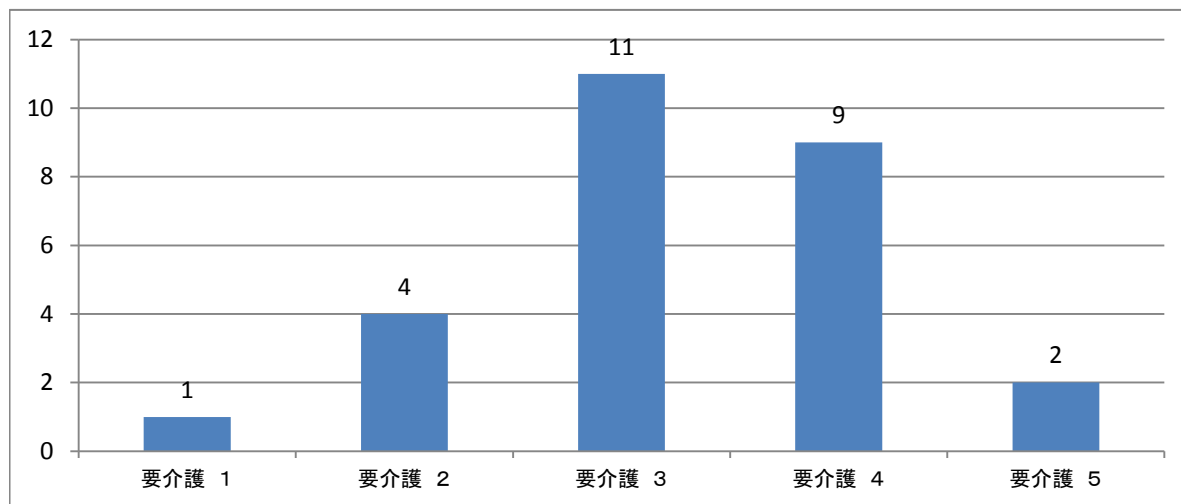
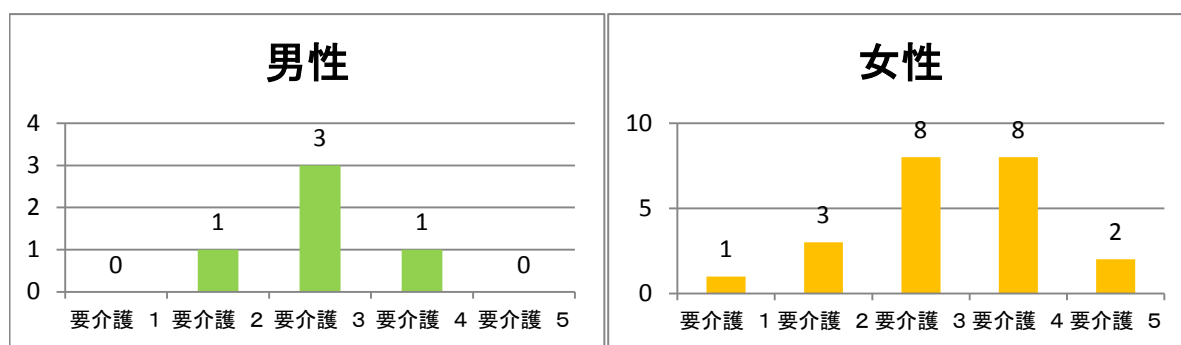
4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	0	9	9	33.33%
1年以上3年未満	4	7	11	40.74%
3年以上5年未満	0	3	3	11.11%
5年以上8年未満	1	2	3	11.11%
8年以上10年未満	0	1	1	3.70%
10年以上	0	0	0	0%
合計	5	22	27	100%
平均入居期間	1年9か月	2年7か月	全体	2年9か月



5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	0	1	1	3.70%
要介護 2	1	3	4	14.81%
要介護 3	3	8	11	40.74%
要介護 4	1	8	9	33.33%
要介護 5	0	2	2	7.41%
合計	5	22	27	100%
平均介護度	3	3.32	3.26	



6. 面会状況(平成29年4月1日～平成30年3月31日迄の1年間)

総数	691
1か月平均	57.6
最高(1人あたり)	71
最低(1人あたり)	5
年間1人平均	25.6
1か月1人平均	2.1

7. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数(名)
4月	グループホームの役割を理解し、「ゆつくり・一緒に・楽しく」接するケアを行う	藤原 裕子	13
5月	食中毒を防ぐ3つの基本的な方法を理解し、実践する	村瀬八千馬	17
6月	利用者様の尊厳を重んじるコミュニケーションを実践する	菅健蔵	13
7月	利用者様の状態観察を行い、危険予測をし、必要な介助ができる	桧垣里香	13
8月	誰が読んでも利用者様の状態・状況が分かる記録を残す	永市敦美	12
9月	マナーの大切さを理解し、外部の方が居心地が良いと思われる対応ができる	藤原 裕子	12
10月	車椅子移乗の正しい介護技術を学び、ご利用者にあつた移乗の仕方を行う	仲渡 美鈴	12
11月	感染症の知識を深め、日頃から対応を考え緊急時に実践できるようにする	津島美由紀	11
12月	防災・防犯の知識を深め、日頃から出来る対策を考える	村瀬りえ	12
1月	認知症を理解しその人にあつたケア方法を考える	渡辺 英人	13
2月	虐待と身体拘束の定義を理解し、3ロック(スピーチロック・ドラックロック・フィジカルロック)をしないように心がける	村上 美香子	12
3月	夜間緊急時の手順を把握する。担当Sご利用者の疾病を把握し危険性について考える	鳥生 達哉	14

【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
4月	講義	今治市GH交流会 行政説明 新たなサービス評価について	管理職
8月	講義	認知症ケアについて 認知症とは	介護員
8月	講義	防犯講習	介護員
9月	講義	認知症ケアについて 支援方法について	介護員
9月	講義	経理規程について	管理職
9月	見学	国際福祉機器展 見学	管理職
10月	講習	救命講習～心肺蘇生・誤嚥対処法等～	介護員
11月	講義	平成29年度養介護施設従事者虐待防止研修会	介護員
1月	講義	防犯対策について	介護員
2月	講義	認知症サポーターステップアップ講座	介護員
2月	講義	平成29年度実施 介護保険法・ビジネスマナー・ケアプランについて	計画作成担当者
2月	講義	平成30年度 介護報酬改定について	管理者



8. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数(名)
4月	柴田・渡辺・永市	お花見ドライブ	18
5月	柴田・菅	高部厳島神社春祭り見学	5
5月	桧垣・渡部・柴田	端午の節句	23
6月	村瀬・仲渡	戸外食	18(各ユニット)
6月	柴田	あじさいドライブ	4
7月	駄場・渡辺・柴田	七夕	27(各ユニット)
8月	永市・渡辺	夏祭り	54
9月	永市・渡辺	敬老会	34
9月	小川・鳥生・長野	ホットケーキパーティー	27(各ユニット)
10月	仲渡・駄場	戸外食	18(各ユニット)
10月	永市・渡辺	運動会	27
11月	永市・駄場・渡辺	文化祭	37
11月	岡本・駄場	紅葉ドライブ	7
12月	永市・駄場・渡辺	クリスマス会	41
1月	渡辺	鏡開き	26
2月	永市	節分	26
3月	駄場・渡辺・永市	ひな祭り	25

【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数(名)
4月	近藤先生	プレート作り(ウェルカムボード)	8
5月	村瀬・渡部	おやつ作り(きな粉クッキーと桜餅)	8
6月	藤原・村瀬	ボーリングでリフレッシュ	5(2名利用者)
7月	渡部	スノードーム作り	8
8月	永市・渡辺	夏祭り	54(27名利用者)
9月	永市・渡辺	敬老会	34(27名利用者)
10月	村瀬	梨狩り	5
11月	永市・渡辺	文化祭	10
12月	永市・渡辺・駄場	クリスマス会	41(25名利用者)
3月	渡部	波止浜地区文化祭へ出展と見学	20
月1回 第3木曜日	ボランティア	コーラス会	1

9. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
平成29年度		特になし